

かんだせい かえん かん だ か ず ひ で
神田精果園の神田一秀さんにインタビューをしました。



12種類のぶどうを作っています。

しつもん 1

どうして竹原町で、ぶどう栽培をするようになったのですか？

こたえ 雨が少なく、乾燥した土地にぶどう栽培が適していることがわかり、100年以上前に、先祖がこの地で栽培を始めました。今は70軒くらいの家で栽培されています。

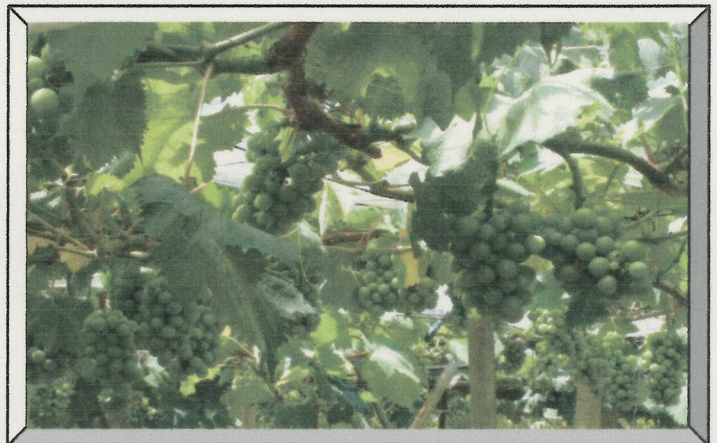
今から60年くらい前は、あたり一面ぶどう畑が広がっていました。

しつもん 2

ぶどう栽培で気をつけていることは何ですか？

こたえ

ぶどうの生育に合わせてする作業が決まっているので、その時期を見のがさないように気をつけています。たとえば、種なしぶどうにするためには、花が咲いた後の処理の時期を見のがさないことなど。



たわわに実ったゴルビー種のぶどう

四代受け継がれてきたぶどう園



口に含んだ時に、「甘い！」と言ってもらうために、収穫に適した時期を見逃さない事にこだわっておられます。

しつもん 3

どんなことが大変ですか？

こたえ

摘粒（たくさんついている粒を取る）をして、ちょうどよい粒の数の房を作ること（房づくり）が大変です。

竹原市の子どもたちに、一言お願いします。

みなさんによろこんでもらえるように、心をこめて作っています。

竹原のおいしいぶどうを、たくさん食べてもらえると嬉しいです。